

各基地・駐屯地創立記念行事に参加

◆館山航空基地開隊63周年記念行事

9月22日(木)、秋雨前線の影響を受けた猛烈な雨のため、式典は格納庫で行われ、参加者が楽しみにしていた祝賀飛行は中止となった。鎌形義憲第21航空群司令は、式典の中で館山航空基地が昭和5年(1930年)、旧海軍の5番目の基地として開設されたこと、旧海軍の遺産を引き継ぎ海自の航空基地として多くの先輩が築きあげてきた伝統を継承し発展させていかなければならないこと、北朝鮮や中国との厳しい安全保障環境の下、多くの制約要因(特に人がある中、逆に任務は多様化するなど、いろいろ工夫して任務を遂行していかねばならないこと)を述べられた。来賓として、浜田靖一衆議院議員、猪口邦子・宇都隆史各参議院議員、元米太一郎参議院議員秘書が、最後に館山自衛隊協力会会長の金丸館山市長が祝辞を述べられた。県隊友会から河野会長、安達副会長、日向理事役、大瀬戸理事役、川村館山支部長等多数の会員が参加。式典後、格納庫で恒例の祝賀会が行われた。

◆下総航空基地開設57周年記念行事

10月28日(金)に柏市内で前夜祭が、翌29日(土)、基地内第2格納庫前エプロンで記念式典が開催され、桜田義孝衆議院

員、猪口邦子・元米太一郎各参議院議員など来賓多数が出席された。県隊友会からは、河野会長、河西・三浦理事役及び満園沼南支部長ほか基地近傍の多数の会員が参加。航空機展示、P-3C祝賀飛行、観閲行進、体験搭乗、横須賀音楽隊演奏等が行われた。

◆松戸駐屯地創立64周年記念行事

11月26日(土)、駐屯地グラウンドで記念式典が行われ、和田良作駐屯地司令は、わが国をとりまく厳しい安全保障環境の下、自衛隊には各種事態に結果を出すことが求められていると述べた上で、陸自は、陸上総隊の新編をはじめ大改革を断行中であり、質と量の両面から、さらには速度の視点を入れて国防のプロとして本物を求めてあくなき追求をすべきときだと訓示された。来賓として渡辺博道衆議院議員、猪口邦子参議院議員、清水聖土鎌ヶ谷市長、歴代駐屯地司令他多数が、千葉県隊友会から藤尾県顧問、河野会長、小淵副会長、豊嶋東葛地区支部連合会会長、近傍支部長等の隊友会員が参加した。訓練展示終了後、駐屯地体育館において祝賀会食があり、大いに懇談の輪が広がった。



第11回県隊友会ゴルフコンペ開催のお知らせ

- ◆日時 平成29年5月15日(月) 8時52分スタート
- ◆場所 三井インテック茂原GC 茂原市長尾1647 電話 0475-1221-8317
- ◆経費 プレフィー 9千530円(諸税込み) 参加費 3千円
- ◆競技
- ◎団体戦 支部(3名~5名) 対抗戦(混成支部も可)
- ◎個人戦 家族・知人・協力者等の参加を歓迎
- ◆申し込み
- 支部でまとめて参加者の「氏名・生年月日・固定電話番号・携帯電話番号・Eメール」を3月24日(金)までに連絡下さい。(個人参加の方も歓迎)
- 宛先 幹事 四街道支部 齋藤誠祐
- 携帯 090-4452-4508 FAX 043-428-3884
- Eメール satou-seisuke@nifty.com

事務局からの連絡事項

- ◆平成28年度後期理事役会及び支部長等会議 3月2日(木) 13時半から千葉市民会館3階会議室で実施。県理事役・監事役及び支部長等は参加を。
- ◆平成28年度千葉県自衛隊入隊予定者激励会 3月4日(土) 13時から四街道市文化センターで開催。今春以降、自衛隊に入隊・入隊する若者を激励します。第1部激励会、第2部音楽会。多くの方の参加をお待ちします。
- ◆平成29年度 県隊友会 通常総会・表彰式・懇親会 4月19日(水) 午後 三井カーテンホテル千葉(千葉市中央区)で開催予定
- ◆平成29年度年会費納入のお願い 年会員の皆様は、29年度分会費として3千円を努めて3月31日までにお願いいたします。
- ◆会運営協力費のお願い 財務基盤改善のため、入会10年経過、75歳未満(今年は昭和17年4月2日以降生まれ)の終身会員の皆様には会運営協力費(寄付)3千円をお願いしています。なお、既に10回分以上協力頂いた会員の方は除いています。
- ◆「終身会員」制度の廃止 隊友紙にも度々、お知らせが掲載されています。平成29年4月1日以降入会の方は、「終身会員」制度は廃止され、「年会員」のみとなります。但し、現終身会員の方の身分は保障されます。また、終身会員で入会10年以降、75歳までの方には、引き続き、会運営協力費(寄付)をお願いいたします。なお、現在、年会員の方は、今年度中(3月31日まで)の終身会員への変更は、可能です。

隊友千葉だより

平成29年1月号(No.47) 千葉県隊友会事務局

【事務所 開所時間】
月・火・水・金曜日
1000~1500 山田理事役



〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibataiyuu.com/

河野美登会長 新年ご挨拶



明けましておめでとうございます。

千葉県隊友会会員の皆様、在葉自衛隊員の皆様、防衛関係諸協力団体の皆様にとりまして、本年が健康で輝かしい年になりますことをお祈り申し上げます。

さて昨年は、アメリカ大統領選挙で過激な発言を繰り返したトランプ氏が大方の予想をくつがえして当選しました。日本に対して米軍駐留経費の全額負担と防衛費の更なる上積み求め、苦勞してまとめあげたTPPからの離脱も表明しており、大統領就任後の日米関係がどうなるのか懸念されるところです。

また韓国において、朴大統領の弾劾訴追案が国会で可決され、大統領の職務が停止されるという異常な事態に至りました。このため12月に予定されていた日中韓の首脳会談が中止に追い込まれるなど、日韓関係の改善は当面期待できそうにもありません。このような状況下で南シナ海や東シナ海で自国権益を拡大、着々と軍事施設の増強やカス田施設の拡張を進める中国、核実験や弾道ミサイルの発射試

験をくり返し、暴走の止まらない北朝鮮に、我が国はどう対応するのか。熟慮が求められるところです。

このような複雑多様化する国際情勢の下で、ジプチを拠点とする派遣海賊対処部隊や南スーダンで活動する派遣施設隊は見事に任務を遂行しています。昨年12月から活動を開始した第11次派遣施設隊には「駆け付け警護」と「宿営地の共同防護」という新たな任務が付与されました。これは、一昨年成立した平和安全法制に基づく初めての任務付与だということです。困難な状況下においても日頃の訓練の成果を十分に発揮し、任務を果たしてきてほしいと願っています。

そうは言っても自衛官というのは、軍人でもなければ警察官でもない、きわめて曖昧な存在です。他国の軍人では当たり前に行っていることが、自衛官であるが故に制約を受けます。このような立場を是正するため、隊友会では憲法改正を柱とする政策提言書を毎年政府・与党に提出しています。今年度からは、隊友会だけでなく、偕行社・水交会・つばさ会の4団体が大同団結して政策提言を行うようになりました。

昨年4月、熊本で発生した大地震に対し、自衛隊は2万6千名が救護及び復旧支援活動に従事しました。千葉県隊友会では、地元

自治体への支援金、被災した会員への見舞金、現地で活動する自衛隊部隊への激励品の名目で募金をお願いしたところ、278万円もの寄付金が集まりました。これは隊友会全体で集まった募金の約一割にもなります。寄付していただいた会員の皆様に深く感謝いたします。

隊友会の最大の課題は会勢の拡充です。この活動の一環として千葉県隊友会では、駐屯地等の先任上級曹長グループに対し、隊友会の概要について説明を行うとともに質疑応答形式の懇談会を実施しました。防災ボランティア活動などの意義や医療保険の継続、洋服の購入、スポーツジムなどの会員加入などに当たって隊友会員ならではの割引制度があることについて具体的に紹介したところ、「そんな特典があるとは知らなかった」という隊員が多く、「そういうことなら退職後は非入会したい」という意見が大半でした。これまで下志津駐屯地、松戸駐屯地について懇談会を実施しましたが、今年度は千葉県下の駐屯地・基地に拡大したいと考えています。

最後に、皆様の今年一年のご健勝、ご活躍を祈念いたしますとともに、千葉県隊友会に対する変わらぬご支援、ご協力をお願いして、新年のご挨拶といたします。

会勢拡大 松戸駐屯地で説明会を実施

県隊友会は、昨11月9日（水）、10時から約1時間、松戸駐屯地所在部隊の最優先上級曹長と懇談を行い、隊友会への入会をお願いした。懇談会には、県隊友会側から河野県隊友会長、松戸駐屯地入会促進指定会員である金子理事役、坂本鎌ヶ谷支部長、小渡監事役、会勢拡大施策担当の永岡理事役及び精山事務局局長計6名が、自衛隊側から北川駐屯地最優先上級曹長を始め、高木第2高射科特科最優先上級曹長、中村需品教導隊先任上級曹長、増田関東補給処松戸支処先任上級曹長に加え需品教導隊、2高群、松戸支処、第301直接支援隊、基地通信隊、警務隊、保全隊の先任陸曹等計26名に参加して貰った。

当初、需品学校長兼ねて松戸駐屯地司令和田良作陸将補から「隊友会は、災害派遣時、出動した隊員家族の安否確認などを行い、我々を支援している。また現在の厳しい募集環境で入隊情報の提供などお世話になっている。隊友会の会員は、退職後も自衛隊支援、地域貢献などを行っている。このような隊友会への入会は、我々隊員の使命だ。」と力強い挨拶を頂いた後、河野会長が隊友会の目的、入会後の活動とやり甲斐、福利上のメリットなどを、続いて金子理事役が主として千葉県隊友会の具体的な活

動状況を説明した。

その後、懇談に移り、最優先上級曹長等から隊友会についての質問、「隊友会は幹部だけの会か」と思っていた。誰でも入れるのか、「仕事の関係で活動に参加できなくてもよいのか」、「会費はいくらか、入会手続きは」、「各種保険の割引はあるのか、保険加入手続きは」、「支部で年何回、宴会を行っているのか」などについて、会長、理事役が丁寧に答えた。

本会を行ってみたい、現役隊員にとって、「隊友会って、何をやっているの」など疑問が多々あることを再認識した。今後、粘り強く、広報活動を行っていききたい。

本会を設定して頂いた和田学校長、各部隊に声を掛けて参加者を募って頂いた北川最優先上級曹長にこの場を借りて感謝します。



現役隊員の疑問に答える坂本鎌ヶ谷支部長

高射学校音楽祭 多くの入場者で賑わう

恒例となった第14回陸上自衛隊高射学校音楽祭が12月10日（土）・12日（日）の両日にわたって四街道市文化センターで開催され、多くの市民で賑わった。

音楽祭は、「地域の皆様とともに」「絆」をテーマに開催され、会場全員起立しての国歌演奏に始まり、高射学校音楽隊（第1音楽隊・富士学校音楽隊・施設学校音楽隊支援）、下志津・習志野・木更津駐屯地の太鼓同好会チームによる千葉防人太鼓、千葉市立千葉高等学校吹奏楽部の演奏、沖縄出身隊員及び沖縄勤務経験者によるエイサー演技、高射学校音楽隊と市立千葉高の合同演奏が行われ、聴衆の拍手喝さいを浴びた。



フィナーレ 出演者全員と聴衆で合唱

千葉地本創立60周年行事 感謝状を頂きました

県隊友会は、12月3日（土）三井ガーデンホテル千葉において開催された自衛隊千葉地方協力本部創立60周年記念行事において、猪森聡彦本部長から小淵信夫副会長（会長代理）が感謝状を授与された。県隊友会は、今回の感謝状授与に対し感謝するとともに、今後とも募集情報の提供など自衛隊諸業務に協力していく所存である。

引き続き記念行事として式典、記念講演会、懇親会が行われた。講演会では、「国防を支える防衛産業の実力と今後の課題」を演題としてジャーナリスト桜林美佐氏が1時間半にわたって熱弁を振るった。懇親会には、森田健作千葉県知事（千葉県自衛隊協力会連合会会長）、桜田義孝衆議院議員（募集相談員）、豊田俊郎参議院議員（八千代市自衛隊協力会会長）、国会議員代理、在薬部隊指揮官、募集相談員、防衛関連団体会長、協力団体会長などの来賓とOB、現役、総勢30名が参加、地本の紹介ビデオもあり、盛会であった。県隊友会から小淵副会長のほか理事役、支部長が参加した。



表彰式（感謝状授与）



懇親会（森田県知事祝辞）

平成28年11月・12月入会者

祝入会【敬称略・順不同】

入会感謝・隊友会の発展にご協力を

- 【八千代】 富田 遼太郎（空）
加藤 優志（陸）
- 【柏】 西尾 勝（陸）
- 【松戸】 中島 均（海）
林 弘美（陸）
- 【佐倉】 石井 利和（陸）
- 【市川】 海野 幸人（陸）
- 【茂原】 室屋 勇二（陸）
- 【香取】 不破 直幸（陸）
志波 和浩（陸）
- 【成田】 淵上 浩司（陸）
- 【船橋】 西村 幸久（陸）
- 【流山】 徳田 俊彦（陸）
- 【山武東金】 峠 功喜（陸）
- 【我孫子】 立野 昭二（陸）
- 【浦安】 吉川 礼史（空）

県隊友会 相談役交代

12月1日付で海自下総教育航空群司令 浅岡哲史1等海佐及び自衛隊千葉地方協力本部長 猪森聡彦（いのもり としひこ）1等海佐が着任。河野会長、副会長、近傍支部長、理事役等は、新着任部隊長を表敬訪問、相談役を委嘱した。浅岡群司令は、異地方総監部管理部長から着任、高知県出身、防大30期、猪森本部長は、第1整備補給隊司令（鹿屋航空基地）から着任、東京都出身、防大35期。

館山航空基地追悼式に参列



浅岡下総教育航空群司令



猪森千葉地本長

11月17日（木）、11時15分から第21航空群司令 鎌形義憲海将補が執行され金丸館山市長、南房総市・鴨川市・勝浦市の各市長代理、三沢県議会議長、榎本館山市議会議長他市議会議員13名、歴代群司令5名、海老原館空会会長、石川ホリウム会会長、自衛隊父兄会館山支部長等70名におよぶ多数の来賓の参加を得て盛大に執り行われた。県隊友会から会長、日向理事役（下総水交会長代理）、川村館山支部長、松浦・高橋・網代・黒川各支部会員の計7名が参加した。館山基地には昭和28年に海自航空部隊が初めて館山に開設されて以来、合計11柱が祀られている。

昭和61年の航空事故で殉職された故田中2佐の長男田中3佐（当時10歳、現第25航空隊所属、ヘリパイロット）が、今回参列、献花された。また、追悼会食で、昭和42年に起きたヘリ衝突事故で殉職された機長福地2佐の長男がNHK大河ドラマ「真田丸」で後藤又兵衛役として出演していた袁川翔氏で当時5歳であったことが鎌形司令から紹介された。

下総航空基地慰霊碑清掃奉仕

基地正門を入り、すぐ右側の木立に囲まれて、34柱が眠る慰霊碑がある。沼南支部は、下総航空基地追悼式（11月18日 斎行）に先立ち、11月13日（日）午前9時から約2時間、清掃奉仕を行った。奉仕は、県隊友会沼南支部と下総水交会（会長山本博秋氏）と合同、総勢30名で行い、支部からは河西理事役以下会員15名が参加した。部隊から下総教育航空群監理幕僚鎌田3佐も参加され、好天に恵まれ皆気持ち良い汗を流し無事作業を終了した。

下総航空基地追悼式に参列

11月18日（金）11時から下総航空基地「雄魂の碑」前において海自下総教育航空群司令 寺尾俊彦1等海佐の主催で斎行された。式には、昭和40年航空事故殉職故安岡1海佐及び昭和46年航空事故殉職故山田3海尉ご遺族、参加ご遺族関連航空事故機所屬部隊指揮官（51空司令、3空司令）、翼の会会長、下総水交会会長、千葉県海自OB会会長、ネプチューン会会長、3術校校友会会長、下総基地所在部隊指揮官（教育航空集団司令官、第3術科学校長、各隊司令等）が参列された。県隊友会からは、安達副会長が参列した。



下総基地慰霊碑清掃奉仕



下総基地追悼式

沖風慰霊観音像清掃奉仕

夷隅支部は、11月12日（土）、駆逐艦「沖風」慰霊碑清掃活動（今年2回目）を7名にて実施した。午前11時にいすみ市大原自治会館に集まり、年初め1月10日の「沖風」慰霊祭及び新年会実施要領を協議した後、清掃作業に入った。今回は、草もさることながら、台風等の強い風による枝折れや、塔婆の倒れなどがあったが、全員で力を合わせ、午後3時に無事終了、解放した。【夷隅支部長 高橋清三】



清掃前



清掃後

下総教育航空群終了式に参列

11月24日（木）、15時半から海自下総航空基地において、教育担当の寺尾下総教育航空群司令の主催で実用機課程（VP）（5名）及び航空士戦術課程（8名）の終了式が行われた。晴れてウイングマークを胸にした卒業生は、勇躍、各航空隊に巣立っていった。今後、P-3C哨戒機の操縦士及び戦術航空士として活躍されることをお祈りする。式には父兄、基地協力団体、渡邊海自教育航空集団司令官始め各隊司令が参列した。

